

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

						提出日	R7.6.23		
担当		課名	防災地域支援課						
		グループ名	防災地域支援グループ						
						記入者名			
1 事業概要									
(1)事業名		コミュニティづくり推進事業費			(2)事業種別 (新規・継続)		継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ						(5)予算・財源等の別			
(1)基本目標		人が輝くまちく参加と協働の推進			(1)会計区分		一般会計		
(2)大項目		地域コミュニティ			(2)財源区分		町単独		
(3)中項目		意識の醸成と活動への支援			(3)予算科目		款 2 項 1 目 9		
(4)施策		コミュニティ活動の啓発			(4)予算事業名		コミュニティづくり推進事業費		
(5)施策コード		1.1.0.0	掲載ページ	21	ページ				
(6)実施根拠						(7)総合戦略			
(1)事務分類(自治・法定受託)		自治事務			(1)総合戦略		無		
(2)根拠法令・条例等		なし			(該当事業名)				
(3)事業期間		開始	不明	年	月から	終了	未定	年	月まで
2 事業の目的・内容等									
(1)目的(何のために行うか)						(2)内容(どのような取り組みか)			
花いっぱい運動の推進を図り、美しいまちづくり・快適な環境づくりに資するとともに、地域コミュニティの契機づくりを図る。各地域で展開されているコミュニティ活動拠点となるコミュニティ施設や自治会、団体などの諸活動の運営に供する備品等の整備を推進する。						行政区や団体などが参加し、街路や公園等に季節の花を植栽する。ハード事業補助として、小川町コミュニティ施設等整備事業実施要綱に基づき、行政区が行う集会所建設・活動備品整備等に補助を行う。ソフト事業補助として、小川町いきいき地域活動補助金交付要綱に基づき、行政区の中で交流できる場等の契機づくりに補助を行う。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)						(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
全町民						住民が楽しみながら参加し、街路・公園、空き地などを花で彩り、安全安心な明るいまちづくりの形成に寄与する。コミュニティ施設及び備品の整備で住民の自主的なコミュニティ活動を促進させ、かつ住民の連帯感をより一層高める。			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)									
人口減少と高齢化により住民同士の関わりも少なくなっている中、突発的な災害等が襲ってきた時には共助が大切となる。そのような困難を乗り越える意味でも町から様々な視点でアプローチをかけ、コミュニティ活動を促進させることが大切である。									
(6)SDGsへの貢献									
    									
3 事業のコスト(実績・決算・予算)			(単位:千円)						
(1)事業(内容) 項目		コミュニケーションづくり推進事業費							
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算			
(2)事業費		0	0	0	0	0			
報酬費		0	0	0	0	0			
需用費		1,015	1,056	1,030	1,036	1,090			
役務費		0	0	0	0	0			
委託料		0	0	0	0	0			
内訳		4,441	5,851	3,866	5,693	3,969			
直接事業費合計		5,456	6,907	4,896	6,729	5,059			
(3)財源内訳		0	0	0	0	0			
国庫支出金		0	0	0	0	0			
県支出金		0	0	0	0	0			
地方債		0	0	0	0	0			
その他特定財源		1,500	2,000	0	2,200	0			
一般財源		3,956	4,907	4,896	4,529	5,059			
合計		5,456	6,907	4,896	6,729	5,059			
(4)補助金名		自治総合センターコミュニティ助成金	自治総合センターコミュニティ助成金	—	自治総合センターコミュニティ助成金	—			
(5)人件費									
投入職員数		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3			
年間人件費		2,288	2,263	2,256	2,332	2,410			
(6)総事業費		7,744	9,170	7,152	9,061	7,469			
サービス量(人)		28,494	28,046	27,774	27,290	27,290			
サービス単価		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3			
(単位)		千円／町民1人当たり							

4 指標の検証		コミュニティづくり推進事業費					
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算		
(1)活動指標(実施した事業の量)							
指標名	花いっぱい運動実施回数 (コミュニティ協議会主催分)	目標値	回	1	1	1	
		実績値	回	1	1	X	
		達成率	%	100.0	100.0	X	
	花いっぱい運動参加者数 (総振目標指標p21) R7年度目標値 1,500人	目標値	人	1,500	1,500	X	
		実績値	人	1,459	1,349	X	
		達成率	%	97.3	89.9	X	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)							
指標名	花いっぱい運動参加者数 (総振目標指標p21) R7年度目標値 1,500人	目標値	人	1,500	1,500	X	
		実績値	人	1,459	1,349	X	
		達成率	%	97.3	89.9	X	
	花いっぱい運動において目標値の参加者1,500人を下回ったが、コロナ後も一定数の参加者が参加できている。今後もコミュニティ活動が継続されるよう支援していく。	目標値				X	
		実績値				X	
		達成率				X	
(3)その他指標に現れない成果							
花いっぱい運動において目標値の参加者1,500人を下回ったが、コロナ後も一定数の参加者が参加できている。今後もコミュニティ活動が継続されるよう支援していく。							
5 事業評価							
(1)項目別評価							
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()		
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()		
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()		
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()		
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(目標値は下回ったが、一定の参加者が参加できているため)		
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)							
小川町いきいき地域活動補助金事業では、新規事業に取りかかる行政区が年々減る傾向にある。そのため、行政区が負担に感じず、取り組みやすい事業内容への見直しを検討する。							
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合					
評価主体	評価	評価についての説明					
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	今後もコミュニティづくりや協議会活動を充実させる。					
(2)二次評価 (政策推進課長)							
(3)最終評価 (町長)							